

2024年9月18日

報道関係各位

一般社団法人 欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)

EFPIA Japan患者団体支援プログラム「PASE」 第7回PASE AWARD受賞団体決定のお知らせ

一般社団法人欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan, 会長：岩屋孝彦) は、今回で7回目を迎える患者団体支援プログラム「PASE (Patient Advocacy Support by EFPIA Japan) AWARD」の受賞団体を下記の通り決定しましたのでお知らせします。PASE AWARD は、日本の患者団体活動の活性化を促し、患者さんの声が適切に医療制度に反映されることで患者さんを取り巻く医療環境がより良いものに発展していくことを目的に、EFPIA Japan が2017年から実施しているプログラムです。

第7回 PASE AWARD 受賞団体

受賞団体名	受賞した実施計画	助成金額
認定特定非営利活動法人 希望の会	SDM 推進と QOL 向上のための国際連携	50 万円
強皮症患者会 Linkage	受診の困りごとをこの 1 冊で解決！～SDM に役立つ「強皮症受診ガイドブック」	22 万円
特定非営利活動法人 膠原病・リウマチ・血管炎 サポートネットワーク	小児膠原病をもつ子どもが安心して毎日を送るために ～学校に 絵本を届けるプロジェクト	50 万円
特定非営利活動法人 バンキャンジャパン	成人発症型糖尿病患者と膵臓癌早期発見啓発プログラム医療セミナー「膵臓がんと成人発症型糖尿病」の開催	50 万円
一般社団法人 ピーベック	患者の食事に関する困りごとを可視化し啓発に繋げる「一緒にいただきますプロジェクト」のキャンペーン展開	50 万円

本年度の PASE AWARD は、「患者さんの健康及び生活の質の向上を目指した患者団体行動」をテーマに、活動計画の公募を行いました。7月5日までに15の団体から応募があり、書類による1次審査、プレゼンテーションおよび質疑応答による最終審査を経て、今年は5団体が PASE AWARD を受賞しました。

PASE AWARD は昨年度より、法人格を持たない患者団体や患者支援団体にも応募資格を広げましたが、本年度は更に、助成金を応募団体の年間収支予算の50%を上限として、最大50万円、最小15万円と規定し、団体規模に応じた助成金を提供します。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

最終審査の選考委員は以下の通りです。

- 中山 健夫先生（京都大学医学部 健康情報学教授）
- 高山 智子先生（静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科教授）
- 井上 祥先生（株式会社メディカルノート 代表取締役・共同創業者）
- 岩屋 孝彦 EFPIA Japan 会長（サノフィ株式会社）
- 堀井 貴史 EFPIA Japan 副会長（アストラゼネカ株式会社）
- キャスパー・ブッカ・マイルヴァン EFPIA Japan 副会長（ノボルディスクファーマ株式会社）
- ヤンシュテファン・シエルド EFPIA Japan 理事（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）
- 内田 大介 EFPIA Japan ガバナンス・法務委員会 委員長（サノフィ株式会社）

EFPIA Japan 会長の岩屋 孝彦は次のように述べています。「第 7 回 PASE AWARD に応募いただいたすべての患者団体にお礼申し上げます。患者さんを取り巻く医療環境の変化に伴い、患者団体の果たす役割は大きく、また多岐にわたっています。EFPIA Japan では今後も医療環境の発展に寄与する患者団体への支援や協働を進め、交流を深めていくことで、「患者さん中心医療」の実現に向けて尽力していきます」受賞団体のうち、審査において最も評価が高かった団体には、10月9日に行われる授与式において、活動計画を発表いただく予定です。

EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE AWARD」について

EFPIA Japan は、患者団体との協働や交流を通じて、患者さんのニーズや政策提言を社会に発信する機会と活動をサポートしています。PASE（Patient Advocacy Support by EFPIA Japan）AWARD は、日本の患者団体活動の活性化を支援する目的で、2017年に設立されました。過去7年間を通じて延べ121の団体から幅広い活動計画の応募があり、本年は5団体に対して、総額で2,220,000円の助成を行います。

PASE についての詳細はリンクをご参照ください。 <http://efpia.jp/pase/index.html>

欧州製薬団体連合会（EFPIA Japan）について (<http://efpia.jp/>)

2002年4月に設立された EFPIA Japan には、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業23社が加盟しています。2023年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約28%を占めています。EFPIA Japan の使命は、“革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する”ことです。EFPIA Japan は日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

欧州製薬団体連合会（EFPIA, European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations）について (<http://www.efpia.eu>)

EFPIA は、欧州で事業を展開するバイオ医薬品産業を代表する団体で、欧州各国の37の業界団体、欧州で活動する40の大手製薬企業、多数の中小企業（SME）の直接会員により構成されています。新たな治療薬およびワクチンの創薬や研究開発、イノベーション、供給を可能にする環境の構築と、欧州経済への貢献を使命としています。



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations

お問い合わせ先：

藤田 均

EFPIA Japan 広報部会 PASE 担当

〒105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1

虎ノ門ヒルズ森タワー

ノバルティス ファーマ株式会社

TEL: 090-9837-4326

Mail: hitoshi.fujita@novartis.com

金田 真由美

EFPIA Japan 患者支援委員会 PASE 担当

〒153-8926 東京都目黒区下目黒 1-8-1 ア

ルコタワー4F

メルクバイオファーマ株式会社

TEL: 070-8821-5436

Mail: mayumi.kaneda@merckgroup.com